

みなさん、ご無沙汰しております。今回も幹事の間中です。

今回は、プラークの付着や二次カリエス防止などに重要なクラウンの適合について、深く追及してみたいと考えています。そこで、恒例の“夜会”が開催される11月13日までに、お送りした支台歯にキャップを鋳造し、それぞれが持ち寄って意見を交わしたいと思います。

特に適合のグレードアップが目的なので、最高の作品をお持ちいただき全員で製作過程などを検証して、明日からの臨床に役立てたいと考えています。

-----注意事項-----

- ※ 同封した支台歯模型にワックスアップ・鋳造し、支台歯模型に適合させる。
- ※ スペースの塗布は構わないが、マージンラインは印記しない。
- ※ サンドブラスターは禁止、適合させるための内面調整は構わない。  
(サンドブラストは掘り出し時のみ使用OK)
- ※ 金属・埋没材（クリスorリン酸）の指定はなし。

◎ 支台歯模型・鋳造体、さらに下記をご記入の上、併せてご持参下さい

-----

今回使用した材料、またワックスアップ→埋没→鋳造までの詳細をご記入下さい。

- ☆ワックス分離材
- ☆ワックス
  - ・内面コーティング用ワックス
  - ・歯頸部及びコーピング用ワックス
  - ・形態回復用ワックス
  - ・マージンバーニッシュワックス
- ☆スプルー植立  
    ☒

- ☆ライナー
- ☆埋没材
- ☆リング加熱スケジュール

☆鋳造器

以上、当日を楽しみにしております。